

# 平成20年度事業計画

## 1. 担当理事の役割と活動

- 1) 総務担当 : 協会の組織・運営及び国内他組織との渉外に関する事項
- 2) 人材育成担当 : 職員の資質向上に関する事項
- 3) 国際担当 : 国際事業に関する事項
- 4) 学術情報担当 : 学術情報資源に関する事項

## 2. 委員会の主な活動

### 1) 総務委員会（常置）

協会の組織・運営及び広報に関する企画・立案並びに協会賞等の企画・審議を行う。

#### ○新たな活動計画・重点事項

「協会のあり方」について検討を行う。

### 2) 人材委員会（常置）

国立大学の図書館が必要とする人材の計画的な育成に必要な事業、図書系職員の処遇問題の検討を行う。

#### ○新たな活動計画・重点事項

- ・人材育成事業のあり方の検討
- ・キャリアパス・モデルの作成
- ・図書館職員の採用・育成に関する人事的方策の検討

### 3) 国際学術コミュニケーション委員会（常置）

グローバルILL/DDの展開、SPARCとの連携の継続・発展、国際的な学術コミュニケーション全般に関わる活動を行う。

#### ○新たな活動計画・重点事項

- ・国際ILL/DDの改善と国際ILL担当者のスキルアップ方策
  - ・国内外の関係団体との情報交換・連携
- 国内外の学術コミュニケーション関連団体と情報交換を行い、連携を図る。

### 4) 学術情報委員会（常置）

学術情報の円滑、安定的な収集、提供、保存を図るため、増大／多様化する学術情報メディアの動向及び諸課題について検討する。

#### ○新たな活動計画・重点事項

- ・出版者等との契約交渉の方針・実務体制の検討
- ・大学図書館におけるあるべき学術情報サービス実現に向けた組織、システム等の検討と実現（国立情報学研究所等との連携を含む）

5) 学術情報流通改革検討ワーキンググループ（平成20年度継続）

電子ジャーナルの持続的利用を確保するための学術情報流通改革に向けて、今後の展望、解決策について検討する。

○新たな活動計画・重点事項

シンポジウム、ワークショップの実施と、今後の解決方策を模索する。

3. 国立大学図書館協会賞の選考・表彰（継続実施）

4. 海外派遣事業の継続実施と今後についての検討

今年度で3年間の海外派遣事業が終了するが、今後の継続と財源について検討する。

5. 学術情報流通改革シンポジウムの開催について

1) 開催日時：平成20年5月1日（木）13:30～17:00

2) 会場：東京大学理学部小柴ホール

3) 開催テーマ：

「学術情報流通の改革を目指して～電子ジャーナルが読めなくなる！？～」

6. マネジメント・セミナーの開催について

1) 開催日時：平成20年6月25日（水）13:00～17:00

2) 会場：仙台国際センター

3) 開催テーマ：

「学術情報基盤としての大学図書館一次期中期目標・中期計画に向けて～」

7. 国立大学図書館協会シンポジウムの開催について

1) 開催時期：平成20年9～10月頃

2) 会場：西日本会場・京都大学附属図書館 東日本会場・東京大学附属図書館

3) 開催テーマ：

「図書館職員としてのキャリア形成を求めるあなたに一望まれるキャリアパス制度をめざして」

8. 電子ジャーナル・タスクフォースの地区説明会の開催について

学術情報流通改革シンポジウム（平成20年5月1日開催）のフォローアップと今後の方針の検討を行う。必要に応じて、同日に電子ジャーナル・タスクフォース説明会を実施する。

9. 地区活動の助成

地区協会の優れた事業計画に対し事業費助成を行うことにより、地区活動の活性化を図る。

10. 協会のあり方の検討について

現在の協会の評価を行い、評価できる点、見直すべき点などを以下の点を中心に点検し、改正等について、総務委員会において検討を行う。

1) 会長・副会長・監事の選出方法、理事の担当、委員会について

2) 理事数と地区割りにについて

3) 総会の活性化をどう図るか